

ひと あい えどがわ

No.39

発行日 / 2018.11.1

創刊日 / 2007.4.10


EDOGAWA
SINCE 2004
SOUGOU-JINSEI-DAIGAKU

<http://www.sougou-jinsei-daigaku.net/>


恩師への感謝を込めてお見送り ~卒業祝賀会にて~

第13期生61名が晴れやかに卒業！

平成30年江戸川総合人生大学卒業式

第13期生卒業式が9月4日、多田区長ご臨席のもと、タワーホール船堀で行われました。

江戸川まちづくり学科

国際コミュニティ学科

子ども・子育て応援学科

介護・福祉学科



地域のために自分の力を活かしてみたい。江戸川総合人生大学はそんな方を応援するために江戸川区が開設した大学です。（＊学校教育法で定める正規の大学ではありません。）

第13回 江戸川総合人生大学祭

地域とともに～あなたの一步、みんなの一步～

大学祭が始まるぞ!!



猛暑の中884名がご来場! ありがとうございました。

介14 住み慣れたまちでいつまでも



大学祭準備を通して級友との親交が深まり、展示作成や情報収集を通して知識が深まり楽しかったです。
クラス一同

国14 みんなで♪レッツダンス!!



笑顔で踊る練習の厳しさを乗り越えて迎えた本番。
踊り子たちは大学祭の忘れぬ思い出になりました。

クラス一同

同窓会 活動の紹介



地域で活躍している卒業生。代表して、3組のグループが日頃の活動を発表し、会場を盛り上げました。



区長挨拶



左から 新界大学祭実行委員長、前田同窓会会長、多田区長、北野学長

子14 アンパンマン・ワールド



LINEの交換で、11人の仲間と後世に伝えたい「アンパンマン・ワールド」を作りました。素晴らしい仲間感謝。
小野寺恵都子

まち14 展示ブースに



準備から本番まで、クラスのみならず、地域の方々と一緒に楽しく素晴らしいひと時に心から

第13回江戸川総合人生大学祭が、7月21日(土) タワーホール船堀を会場に開催されました。各クラス・卒業生が日頃の学びと活動の成果を発揮する「展示・体験コーナー」では、それぞれの特色を活かした内容に入場者は足を止め、交流の輪が広がりました。また、「ステージ」では、この日のために練習を重ねた歌や踊り、寸劇などを披露。会場全体が一つになっての楽しいひとときとなりました。

猛暑にもかかわらず、地域の方や同窓生など多くの方が来場し、大盛況のうちに終了しました。

まち13 何のジェスチャーかわかる？



ヒント：オランダ発祥の競技

大学祭が楽しかったのは、この笑顔を見ればわかるでしょ!! A.自転車です。

介13 私達の2年間



ハッピーちゃんと会場を廻りました。

どの学科も皆頑張り、仲間の絆も深まり、楽しんでいました。

大城エリア

国13 思いを込めてシングアウト



閉会フィナーレでは、目頭が熱くなりました。素晴らしいクラスの仲間との予期せぬ出会いに感謝!!

須山博行

座談会「人生大学ってこんなところ」



左から 佐谷学科長(まち)、ギッシュ学科長(国際)、北野学長、笹井学科長(子ども)、村田学科長(介護)

全員集合 \(\^o^\) / !!



なが持ち味を活かして頑張りました。クラス一同感謝!!

子13 みんなであそぼう



大きなビー玉コースターを割り箸と端材で作りました。少しのゆがみでも落ちるので現地での調整に四苦八苦。三橋ひとみ

大学祭実行委員会



大学祭実行委員会は3つの作業部会を中心に、普段交流のない他のクラス仲間と楽しく準備を行いました。

15期生入学式報告

第15期生の皆様、ご入学おめでとうございます。
10月11日(木)しのぎ文化プラザにて入学式が行われ、86名の方が江戸川総合人生大学に入学されました。北野学長や学科長より歓迎の挨拶があり、多田区長からは励ましのお言葉を頂戴

しました。また、新入生を代表して介護・健康学科の田所陽子さんが抱負を述べました。
これからの2年間、充実した学生生活を共に過ごし、地域貢献につなげていきましょう。



北野学長の式辞



新入生代表の抱負

「子ども・子育て応援学科」から「子育てささえあい学科」へ



子どもの成長にとって親・保護者の役割が重要であることはいうまでもありませんが、子どもを

江戸川区には、近年、子育て世代が多く住むようになってきていますが、そうした世代が充実した子育てができるよう、江戸川総合人生大学においても、それを応援していくことが望まれています。

取り巻く環境が大きく変化した現在、地域という場で、人生大学を卒業した人たちが、子どもをめぐって関わり合い、支え合い、助け合うようになれば、子育ての充実はもちろん、うるおいのある地域を実現することにもつながります。

こうした理念のもとで、江戸川総合人生大学においては、これまでの「子ども・子育て応援学科」を「子育てささえあい学科」に名称変更することになりました。ここでは、乳幼児から中学生くらいまでの子どもたちを念頭におき、子育ての意義や課題等について理解を深めることに加え、子どもの豊かな成長と信頼にあふれた地域をつくることを目指しています。

学科長 笹井宏益

同窓会の窓



国連の「世界幸福度報告」によると、日本は「寛容さ(generosity=ここでは「慈善団体に最近寄付をしたか(人助けをしたか)」)」に劣るとされています。又、イギリスの或るチャリティー団体による「世界寄付指数ランキング」で、日本の総合ランクは139カ国中111位。項目別で、「(他人の)手助けをしない」が同135位と、ほぼ世界最低ランク。この二つの情報を合わせると、「他人の手助けをする」ことで、自分の「幸福度」も上がることとなります。「助けの要る人を助ける」。この、当り前のことを、多くの

人が当り前に行う社会にしていきたいものです。

江戸川総合人生大学同窓会はおかげさまで11年目に入りました。地域のために頑張る卒業生と共に、地域に貢献していきたいと思います。

同窓会会長 前田 直義 (国際9期)

同窓会ホームページ <https://www.jinseidaigaku-dousoukai.net/>
メールアドレス info@jinseidaigaku-dousoukai.net

編集後記

今号は、7月～10月に開催された「大学祭」「卒業式」「入学式」の報告特集号です。人生大学生にとっては、いずれもが晴れがましいイベント。写真やコメントで人生大学の楽しさがお伝えできたら幸いです。

さて、13期生編集委員も本号の発行をもって卒業。14期生に加え、新たに迎える15期生のメンバーにボタンタッチです。

人生大学と地域のみなさまとの絆となるべく、在校生が心を込めて編集する「ひと あい えどがわ」を、これからもご愛読ください。

13期生編集委員一同

編集：「ひと あい えどがわ」編集委員

[13期生] 大場千恵子、柴田正美(まち) 大野正夫、黒田健司(国際)
志賀直照、松本政子(子ども) 櫻井昇、松島珠美(介護)

[14期生] 多久島重、田村誠二郎(まち) 榎本清一、山本洋子(国際)
栗原國子、西山弘(子ども) 川崎富美雄、松瀬元春(介護)